

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 10 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の付き合いがほぼできていない状況である。グループホームの存在すら認識されていない可能性が高い	周辺の地域に当事業所を認知していただき、災害時など気にかけていただけるような関係を構築する。	地域の方々との交流の機会を作るため、地域資源の情報をこまめにチェックし参加できる様にしたい	6ヶ月
2	3	運営推進会議がコロナ禍のため、書面開催となっており、状況報告に対してレスポンスが少ない。	ご意見をいただき、サービス向上につなげる。	いきいき支援センター・自治会には書面を渡した時ご意見を頂き、家族様には郵送にてアンケート式でご意見をいただく。開催再開時にむけてより深く理解していただけるよう活動の一部を同封する。	1ヶ月
3	4	市町村との関わりができていない。	まずいきいき支援センターとの関わりを持つようにする。	評価結果を持参し、施設が抱えている問題について相談する。近くを通った際に足を運ぶ様にする。	6ヶ月
4	35	災害対策として、南海トラフ地震などいつ発生してもおかしくない状況、高層施設のため、スタッフ1人時などどうしたらいいのか？	災害時、スタッフがどう動けばいいのかか熟知しておく	利用者様とともに避難訓練をする。地域との交流を踏まえ、支援を受ける事ができる様にしておく。消防署に話を聞く。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。